

要請・陳情活動 成果報告書 …… 資料 2

日 時 令和 4 年 1 1 月 2 4 日 (木)

場 所

(1)近畿中部防衛局：大阪市中心区大手前 4-1-67 大阪合同庁舎第 2 号館

(2)近畿地方整備局：大阪市中心区大手前 3-1-41 大手前合同庁舎

(3)京都府建設交通部：京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町

要望先

(1)近畿中部防衛局 茂籠 勇人 局長

(2)近畿地方整備局 水野 宏治 道路部長

(3)京都府建設交通部 濱田 禎 部長

1. 要請・陳情の目的

①山陰近畿自動車道の早期全線事業化に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対して要望活動を行う。

②緊急輸送道路に指定されている国道及び府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財源支援を行っている防衛省に対して事業支援を要望する。

2、要請・陳情活動の内容

近畿中部防衛局へは、米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い、本市の厳しい財政状況の中、再編交付金、民生安定施設整備事業や障害防止事業等の交付額として約 3 6 億円が、農林水産業、教育、医療、防災等の事業費に活用させて頂いている。これに加え、令和 3 年度末に府道浜丹後線宮バイパス及び、府道間人大宮線の大門橋が京都府の事業で完成し、住民の住みやすさ、安心安全にもつながっていることから感謝を伝えた。現在進捗中の上野・平バイパスの早期完成

と外村バイパスの整備を始め、仮称屏風岩橋等、多くの防衛局の関連事業が住民の生活道路であることをお伝えし重ねて要望を行った。

また、米軍基地内への隊舎整備されたことにより、生活に欠かせない道路整備を始め、何よりも良き住民という地域とのつながりという視点でも地域貢献をしていただいていることも感謝を伝えた。

その後は近畿地方整備局、水野道路部長へ要望活動を行った。特に、令和4年10月に本市で行われた山陰近畿自動車道早期実現促進大会での決議文の「利用者負担を排除せず」「令和10年度代の全線整備」という内容について報告を行った。水野道路部長からは、非常に大切なことであり、財源確保を近畿地方整備局としても要望をしていくと発言をいただいた。一方で現状の高速道路の橋梁、河川等老朽化に伴う長寿命化対策にも巨額な費用を要することから、北部地域の発展に必要な道路網であるからこそ、令和10年度代の先の見通しを地元として何かのアイディアも持っておくことが、予算要望の根拠となると助言をいただいた。

その後は、コロナ感染症対策として、役員のみで京都府庁へ行き、西脇知事宛の要望書を建設交通部濱田禎部長に提出をした。これまでに防衛局、近畿整備局等にも要望を行ったことに加え京都府からも財政支援の要望に加え早期実現にお力添えを賜りたい旨をお伝えした。

現在、国の直轄権限代行の個所を始め、進捗中の個所を優先的にしっかりと行い、道路計画がまだない個所についてはまずは、事業計画に乗せていく努力をしていくと前向きな答弁がいただいた。また、防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保について申入れをした。その中で、京丹後市と隣接する伊根町の178号線、網野岩滝線の整備は北部医療センターとの緊急輸送道路でもあることから、整備が図られる旨をお伝えした。

3、所 見

(1)近畿中部防衛局では、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、府道浜丹後線宮バイパス、府道間人大宮線の大門橋が京都府事業で令和3年度末に完成し、その後も引き続きの整備が進んでいる。これに加え上野平バイパス、府道網野岩滝線の外村バイパスの整備も事業化され着実に工事が進んでいることに感謝を伝えた。また、国道178号「仮称屏風岩橋」の更なる要望も添えて意見交換を行った。中でも府道網野岩滝線の外村バイパスの新規事業化については、北部医療センターへ結ぶ道路であり、医療拠点を結ぶ命のネットワーク網の

確保につながることは地元住民にとって大変喜ばしい事である。

そして、道路だけでなく、本市の市民の公共福祉のために財源をいただき活用していることから、重ねて感謝をお伝えした。また米軍人の隊舎完成により地元地域とのコミュニケーションが一層図られ、様々な活動もしていることから、良き関係性の構築が図られていることもお伝えをした。今後も、米軍基地に対する理解を広く市民に得ながら、関連事業の推進に努力をして行かなければならないと感じた。

(2)近畿地方整備局では、近畿地方整備局管内の道路橋梁の老朽化による補修工事も新設道路のみではなく計画的に行っていると伺った。それには巨額の費用が費やされており「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用して実施している。しかし、2年間で半分の財源を費やしていることから、財源確保を地域から国への要望を更に求めていくことが必要であると伺った。また、今回は要望書の中に新たに具体的な年限を記載している。このことに触れられ、府県境までの全線を令和10年代に完成との要望している根拠があれば、示していくべきであり、その年限の根拠がないのであれば、逆に作っていくことが必要ではないかという指摘を受けた。厳しいご指摘はあるものの、より早期の実現をしていくためには、新たな課題設定を頂いたと受け、今後の要望活動に活かしていきたい。

(3)京都府建設交通部では、現在、本市では多くの緊急輸送道路の整備と事業が進捗している。このことから、国・府から多くの財源措置を本市にいただいていることが分かる。令和3年度末には府道浜丹後線宮バイパス及び、府道間人大宮線の大門橋が京都府の事業で完成した。令和4年度は、木津バイパスが開通したところであり、また野中バイパスの完成が目の前である。今後は事業計画中の道路整備の早期完成が求められている。京都府としても道路計画が未計画の個所においては地元要望も踏まえて事業化していく方針であることから、今後の要望についても重要であると感じた。

そして、今回の要望活動において、山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟では、先の大会で取りまとめた決議文を重く受け止め、地元の悲願である早期整備の実現のもと、具体的な年限を明記し尚且つ、利用者負担を排除しない考えを示すことで高速道路網が本市のみならず、丹後北部地域の発展に寄与するものと強く感じている。この機運を高め、ストック効果をもたらす企業誘致の誘発にもつながると考える。これらの効果から地元産業が活性化し、住みやすさと安心安全な地域となると考える。そのためには、山陰近畿自動車道がもたらすストック効果をより多くの地元住民も一緒になって生み出していくことが大切であると感じた。地元希望ルートに沿った形で計画がなされることは、地

域産業の振興や観光振興に繋がり、地元住民が早期実現に向けた自発的な動きとなっていくと考える。

地方創生と云われ地方自治体が求められる活性化となる為には公共インフラの整備は欠かせない。地方が豊かになる為にはアクセシビリティの格差を解消していかなければならない。

これからの時代を担う若者が住みやすい環境整備に努めることが、今の時代を生きる大人たちの指名であると感じる。

要 望 書

令和4年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

米軍経ヶ岬通信所設置に関連する道路整備に関する要望書

防衛省におかれましては、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、府道浜丹後線宮バイパス及び府道間人大宮線の大門橋が京都府事業で令和3年度末に完成しました。この2箇所の道路整備は民生安定事業の有利な財源によるご支援をいただき、感謝いたしますとともに、引き続き府道浜丹後線上野平バイパス及び府道網野岩滝線外村バイパスの本格的な整備を実施していただいておりますことに対しても、感謝いたします。

本議員連盟では、国内で2例目となるミサイル防衛用早期警戒レーダーが配備されている米軍経ヶ岬通信所は、我が国の安全保障上欠かすことのできない重要な防衛施設であると考えています。

しかしながら、京丹後市内においては、まだまだ道路整備が十分ではなく、令和3年度に米軍経ヶ岬通信所内に隊舎が完成したことに伴い、米軍経ヶ岬通信所への物資運搬や隊員の買い物等、生活上の移動時の交通事故の心配があり、防衛施設に対する住民の理解を得る上でも、道路整備は切実かつ喫緊の課題となっています。

また、道路は、近年頻発激甚化する自然災害への対応や緊急輸送・避難路として、ますます重要な役割を持つ社会インフラとなっています。さらには、防衛施設への連絡道路は、いかなる状況下にもアクセスが確保される信頼性が必要不可欠であり、早急な整備が安全・安心の確保に大きく貢献するものと確信しています。

つきましては、現在、京都府において事業化されている下記道路事業が早期に完成するよう必要な予算確保と京都府へ要望中の下記道路事業に対する格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業中の道路事業

- 主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）
- 一般府道間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）
- 主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

要望中の道路事業

- 国道178号（「仮称」屏風岩橋）

令和4年11月24日

近畿中部防衛局

局長 茂 籠 勇 人 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 池 田 恵 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 金 田 琮 仁

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 水 野 孝 典

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

谷 津 伸 幸

富 田 恵 輔

鳴 海 公 軌

浜 岡 大二郎

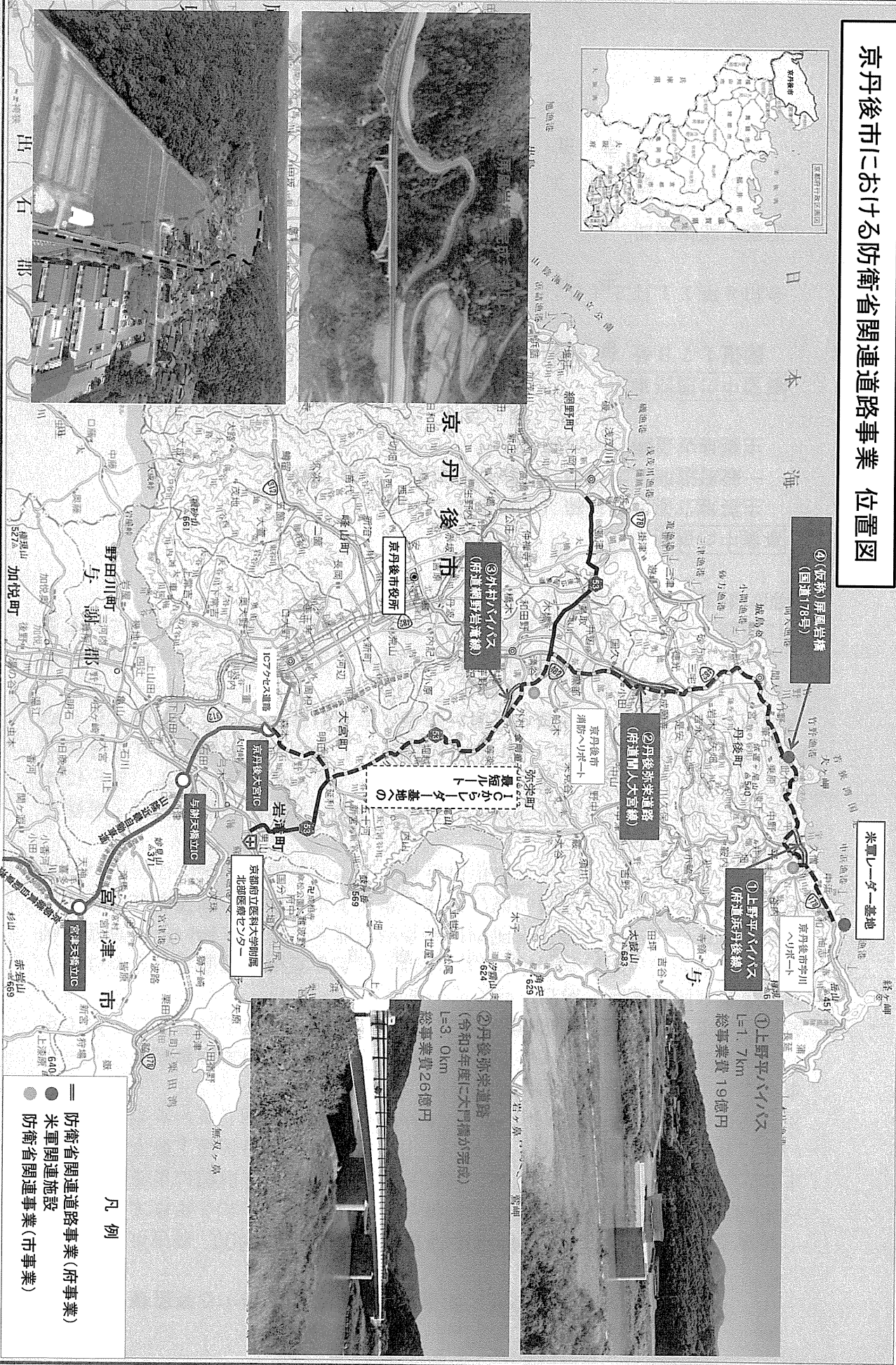
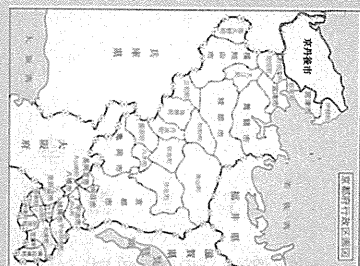
東 田 真 希

平 井 邦 生

和 田 晋

和 田 正 幸

京丹後市における防衛省関連道路事業 位置図



要 望 書

令和4年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクになっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

このような中、令和4年10月16日に丹後・地域高規格道路推進協議会の主催で開催された山陰近畿自動車道早期実現促進大会では、早期全線整備の时期的目途を明らかにし、同整備のできる限りの加速化を実現するため、利用者負担を排除せず、安定的な財源確保により令和10年代の全線整備と令和5年度には網野ICまでの事業化等を関係機関に強く求めたところです。

また、近年は、記録的な豪雨や大型台風などによる自然災害が頻発化・激甚化しており、このような自然災害への事前の備えは、喫緊の課題となっています。

国においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を策定し、地方においても国土強靱化対策に積極的に取り組み、成果をあげているところです。

つきましては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の目標を確実に達成するための必要な予算を確保いただくとともに、新型コロナ終息後の官民を挙げた経済活動のV字回復と物流・観光等の経済活動復興のための道路整備として、山陰近畿自動車道の全線早期完成に向け、次のことを要望します。

- 1 大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて全線整備の具体的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを令和5年度までに事業化されたい。
- 3 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 4 府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルートを決定されたい。

令和4年11月24日

近畿地方整備局
局長 渡辺 学 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 池 田 恵 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 金 田 琮 仁

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 水 野 孝 典

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

谷 津 伸 幸

富 田 恵 輔

鳴 海 公 軌

浜 岡 大二郎

東 田 真 希

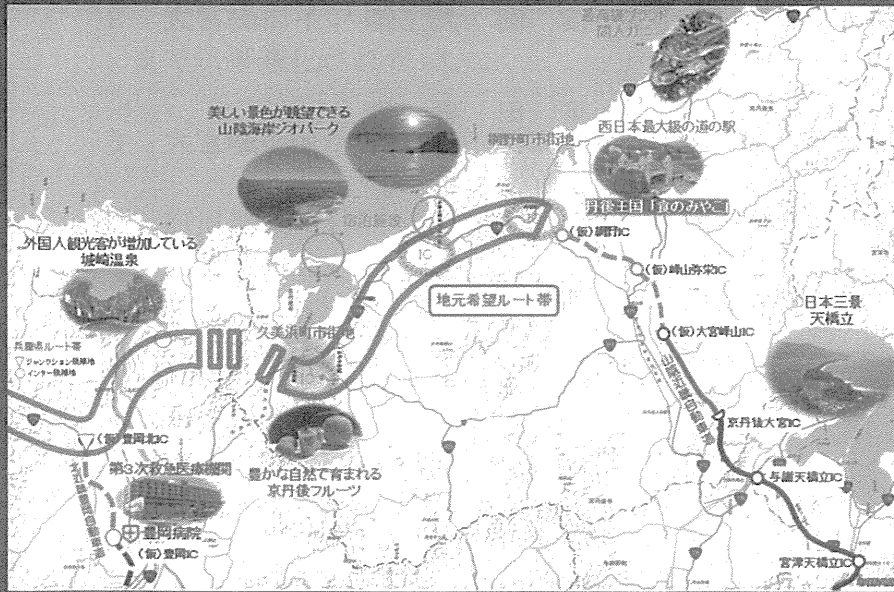
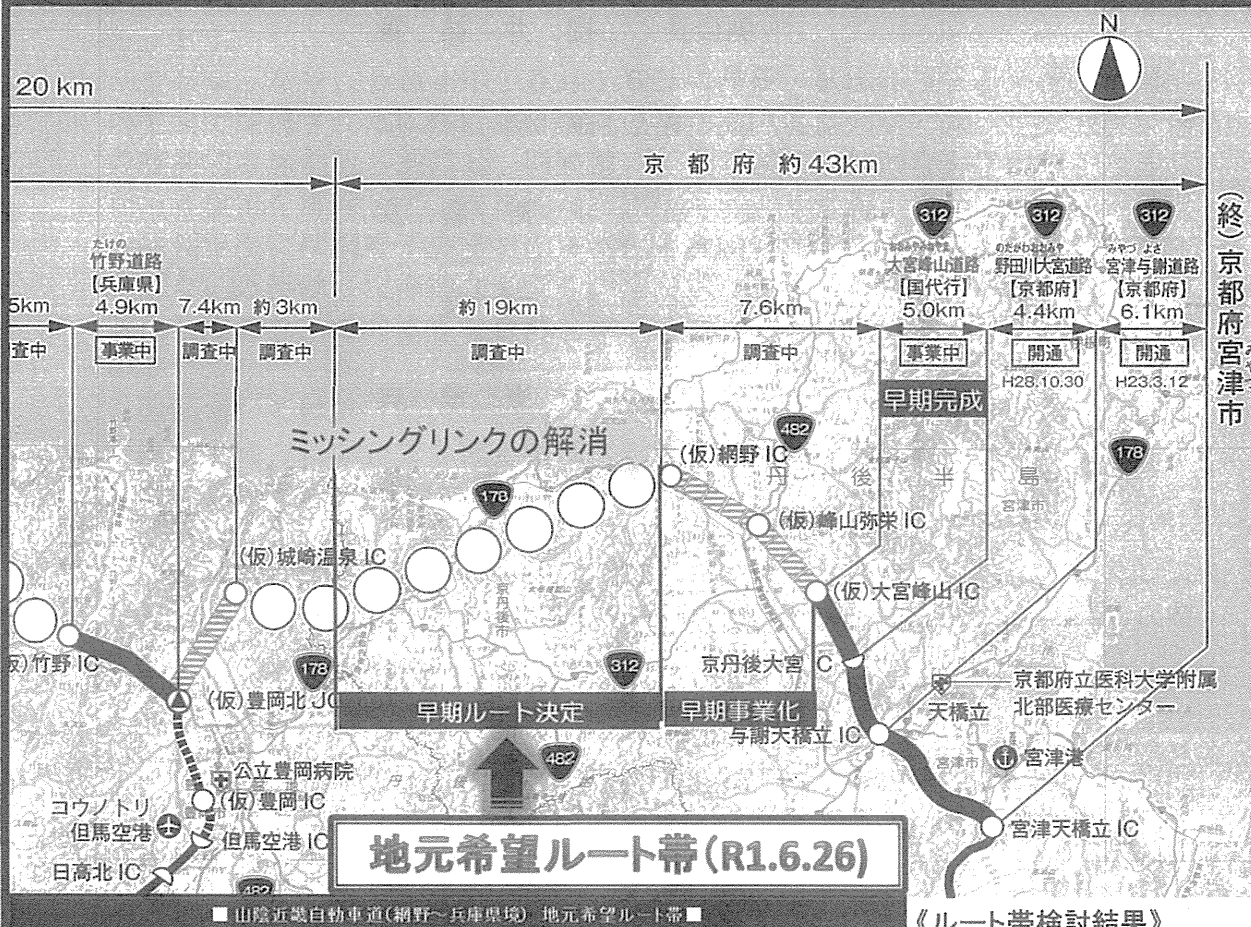
平 井 邦 生

和 田 晋

和 田 正 幸

山陰近畿自動車道の早期全線完成

- 令和10年代の全線完成
- 大宮峰山IC～網野ICまでを令和5年度には事業化
- 大峰峰山道路の早期完成
- 網野IC～府県境の早期ルート決定



《ルート帯検討結果》

- 観光資源・宿泊施設の集積している海側を通るルートを地元希望ルート帯とする。
- 防災・医療や産業振興・広域観光に資する利便性のよい2箇所にインターチェンジを希望する。
- 網野市街地からの利便性の向上を図るため、(仮)網野IC位置の計画変更も検討する。

要 望 書

令和 4 年 1 1 月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクとなっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

このような中、令和4年10月16日に丹後・地域高規格道路推進協議会の主催で開催された山陰近畿自動車道早期実現促進大会では、早期全線整備の時期的目途を明らかにし、同整備のできる限りの加速化を実現するため、利用者負担を排除せず、安定的な財源確保により令和10年代の全線整備と令和5年度には網野ICまでの事業化等を関係機関に強く求めたところです。

また、近年発生している地震災害や豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも都市部と連結する高速道路ネットワークの整備が重要不可欠です。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて全線整備の具体的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを令和5年度までに事業化されたい。
- 3 大宮峰山道路及び峰山インターアクセス道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 4 府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルートを決定されたい。
- 5 防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保を図られたい。

令和4年11月24日

京都府建設交通部
部 長 濱 田 禎 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 池 田 恵 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 金 田 琮 仁

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 水 野 孝 典

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

谷 津 伸 幸

富 田 恵 輔

鳴 海 公 軌

浜 岡 大二郎

東 田 真 希

平 井 邦 生

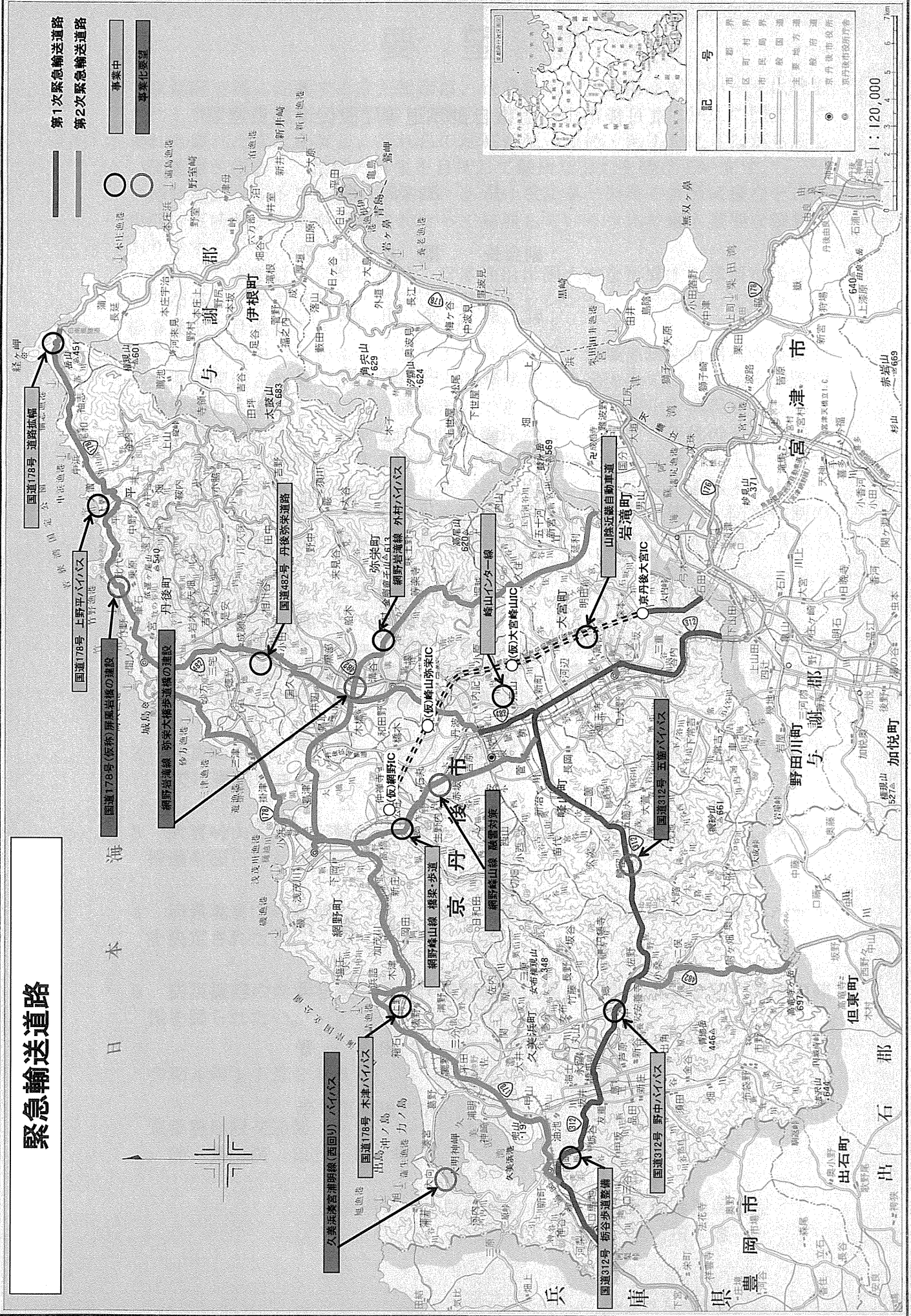
和 田 晋

和 田 正 幸

緊急輸送道路

第1次緊急輸送道路
第2次緊急輸送道路

事業中
事業化要望



記号	号
市界	市界
区界	区界
町界	町界
村界	村界
国界	国界
道界	道界
主要地方道	主要地方道
一般国道	一般国道
一般市道	一般市道
高知市役所	高知市役所
高知市役所支所	高知市役所支所